

幸福競り勝ち初の4強

文星付攻守かみ合う

秋季
県高校野球

大会第9日は10月4日、清原球場で文星芸大付―幸福の科学学園、国学院栃木

△準々決勝(清原)
文星付100 2200 0000
福100 0000 0000
△同(エイジエック)
幸福000 0011 0000 12
宇工000 0011 0000 12
(幸)三角―佐久川(宇)鶴見

▽準々決勝(清原)
文星付100 2200 0000
福100 0000 0000
△同(エイジエック)
幸福000 0011 0000 12
宇工000 0011 0000 12
(幸)三角―佐久川(宇)鶴見

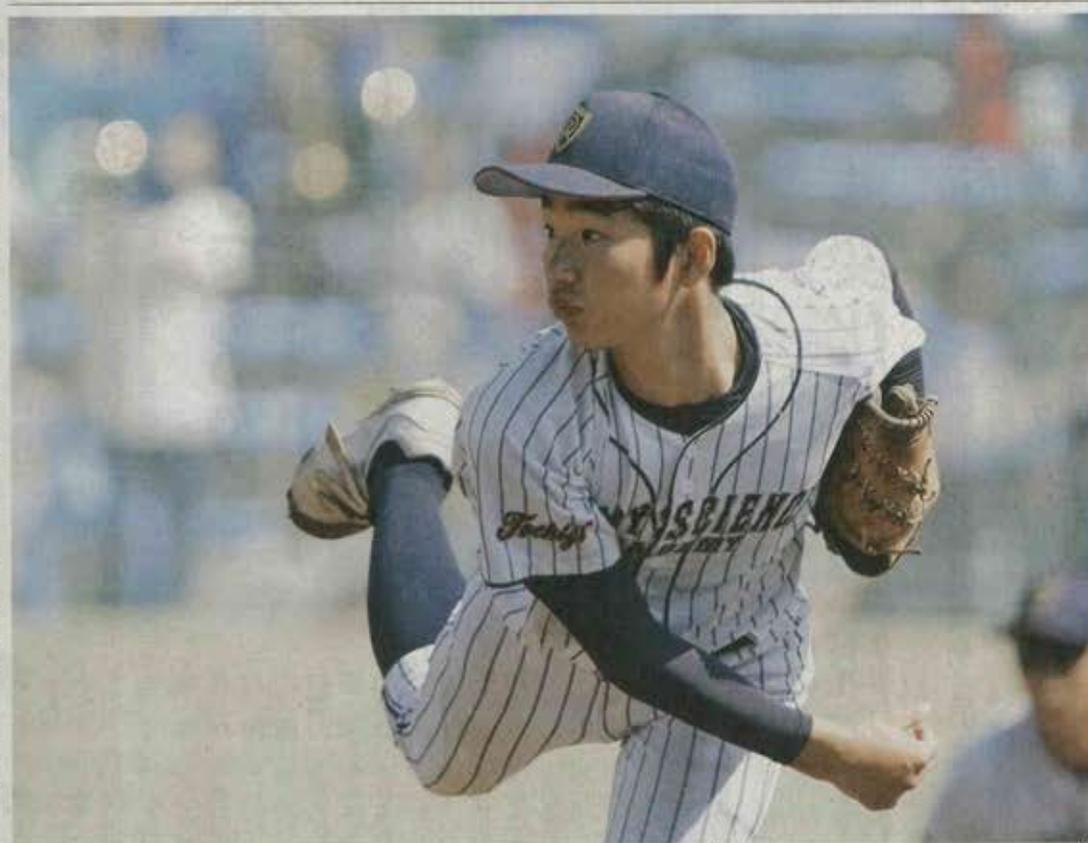
▽準々決勝(清原)
文星付100 2200 0000
福100 0000 0000
△同(エイジエック)
幸福000 0011 0000 12
宇工000 0011 0000 12
(幸)三角―佐久川(宇)鶴見

篠崎―須藤	▽三塁打 弓野、蛭田(文)▽二塁打 我部山、増淵(文)	茂筑、原―筒井	▽三塁打 福田2、三角(幸)増川2、田島、村上(宇)
石橋	000 1000 2000	作新	100 0100 2001
国学院栃木	1000 0022 2000	佐野日大	000 0400 2001
(石)石川、吉谷、石川―沼田(国)	51	(作)大貫漢、杉山、大村、澤村	63
飯原、辺見―大森		―大村、佐伯、大村(佐)鈴木	
▽二塁打 沼田(石)農作、小菅(国)		須田	
▽同(エイジエック)		▽三塁打 澤村(作)接岡(佐)	
幸福000 0011 0000 12		▽二塁打 澤村、大貫漢(作)高橋(佐)	

第78回秋季県高校野球大会第8日は27日、宇都宮市の清原球場とエイジエックスタジアムで準々決勝4試合が行われ、幸福の科学学園、佐野日大、文星芸大付、国学院栃木が準決勝に進んだ。

幸福の科学学園は2―1で宇都宮工に競り勝って初の4強入り。吉松千尋の適時打などで2点を先行。終盤は得点圏に走者を背負ったが、宇都宮工の反撃を1点に抑えた。前回優勝の佐野日大は0―2の五回に4点を奪って逆転し、6―3で作新学院を振り切った。

国学院栃木は5―1で石橋を下し、2年ぶりのベスト4進出。六回から登板したエース辺見斗磨が無失点の好投で流れを引き寄せた。文星芸大付は打線が10安打5得点、投手陣も1失点と攻守がかみ合った。



投打でチームを引っ張った幸福の三角＝エイジエック、橋本裕太撮影

10人で躍進、関東あと1勝 幸福

幸福の科学学園が接戦を制し、県大会初の4強入り。エースとして完投、六回には適時打を放った三角晃平は「特別に意識していたわけではない。プレッシャーを感じることもなくプレーできたのがよかった」と充実感をにじませた。

「乱打戦になると想定していた」と三角。直球は120球前後ながら、得意のカーブを織り交せて丁寧なコースを突いた。最終回は1死二、三塁のピンチを招いたが、最後は併殺に打ち取った。

ハイライト

球を狙っていた」と外角高めを中前に弾き返した。「打って良かった。応援してくれる人の期待に応えたかった」と白い歯をのぞかせた。

三角は今夏、遊撃手として同校初の8強入りに貢献。大会後に投手へ転向し、少ない2年生の一人としてチームを

(橋本裕太)